

優秀賞

その一言で……

三重県 修道小学校 四年
世古 一夏

「大丈夫？」

なやんでいたわたしを救ってくれたのは、友達からのこの一言でした。

わたしは以前友達に、自分にとっていやなことをふざけてされたり、言われたりしたことがありました。そして、そのことをずっと一人で考えていました。友達や先生への相談もむずかしく、親にも言えませんでした。

なやんでいるうちに、授業で話すことがこわくなり、友達と話すことにきんちょうするようになってしまいました。学校へ行くことが楽しくなくなってきた、机の上でぐったりしていることが多くなりました。

そんなある日、「大丈夫？ 最近一夏ちゃん元気ないよ。」と、後ろから女の子たちに声をかけられました。言われたときは一しゅん、びっくりしました。今までそんなことを言われたことがなく、言われるとも思っていなかったからです。おどろきと同時に、そう言ってもらったわたしの心はすごく救われました。友達のとても温かい思いやりのある言葉によって、だれにも相談できなくてなやんでいたわたしの心が、すごくかるくなったような気がしました。

「いやなことがあるならいつでも相談してね。解決するように、できるところまで手伝うからね。」

ふだんあまり話していない子たちなのに、気にかけてくれたことがとてもうれしかったです。わたしはその子たちの行動を見て、周りの人たちのことも気にかけて行動しているなと思いました。わたしは、その子たちにあこがれました。自分とはちがうな、と思いました。

それからは、友達のこの思いやりのある言葉によって、前にふざけてされたことも気にならなくなっていきました。そして、勇気を出して親に相談することができるようになりました。親も共感して、気持ちをわかってくれて、なやみごとを聞いてはげましてくれる、信らいてくれる相談相手になってくれました。わたしは今でも、いやなことがあったら親に相談しています。

また、この日をきっかけに、学級委員選挙に立候補したり、授業中によく発表するようになりました。そして、今までよりも友達のことを考えて、周りを気にかけるようになりました。そうすると、友達がふえて、以前よりも学校が楽しくなり、友達ともたくさん会話ができるようになりました。

学校がとても楽しく元気にすごせるようになると、いろんなことに積極的に取り組んだり、目標を作ってがんばったりできるようになりました。そして、さらに周りをよく見ることはとても大切で、自分もいい気持ちになると思えるようになりました。

友達にかけてもらったその一言は、わたしにとって、とても大きく温かいものでした。

次は、わたしがだれかにそんな一言をかけられるようになりたい、と思います。